

遠野 議会だより

No.54

平成30年7月

【発行】
遠野市議会



主な内容 6月定例会

- ◆ 6月定例会の概要 2
- ◆ 議会改革推進特別委員会報告 4
- ◆ 市民と議会との懇談会の報告 5
- ◆ 一般質問 8人市政を問う 10

高清水へ全校遠足

遠野小学校の全校表現活動「遠野の里の物語」で歌い伝えてきた「トーナツ」をみんなで合唱しました。





平成30年6月定例会が、6月12日に招集され、6月22日までの11日間の会期で開かれました。

今定例会の一般質問では、8人の議員が登壇し、市政を問いました。

市が提出した案件は全10議案で、専決処分に関する条例4件、予算1件を承認、条例3件、一般会計補正予算（1億8200万円）1件、その他1件を審議し、すべて全会一致で原案のとおり可決しました。また、最終日の本会議では、議員発議による意見書1件を可決しました。



請願

◆請願第2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願

【請願者】岩手県教職員組合

花北遠野支部支部長

高橋克典ほか1名(採択)

議員発議

今定例会では、1件の議員発議案（意見書1件）が提出されました。

意見書

◆発議案第2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子ども達の豊かな

な学びを実現するためには教材研究や授業時間を十分に確保することが不可欠である。特に小学校においては、18年度から新学習指導要領の移行期間に入り、外国語教育実施のため授業時数の調整など対応に苦慮する状況となっている。教職員が人間らしい働き方が出来るための長時間労働は正が必要であり、そのための教職員定数改善は欠かせない。

子ども達が全国どこにいても一定水準の教育が受けられるよう国の施策として定数改善に向けた財政保障をし、子ども達の豊かな学びを保障するための条件整備を図るため、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に復元することを求める意見書を提出しようとするものである。

全国市議会議長会表彰伝達式

【期日】平成30年6月12日
【場所】遠野市議会議場

議員3名が、全国市議会議長会表彰規程に基づき、市議会議員を通算15年以上務めた功績により、全国市議会議長会から表彰を受けました。

また、新田勝見議長には、全国市議会議長会産業経済委員を務めたことに対し、感謝状が贈られました。

15年表彰



多田 誠一 議員
細川 幸男 議員
瀧澤 征幸 議員

政務活動費を公表します

【平成29年度政務活動費執行状況（平成29年4月～平成30年3月）】

議員の調査研究活動のために交付される「政務活動費」を下記のとおり公表します。交付額は1人につき60,000円（総額1,050,000円）で、執行率は86%でした。

●支出費目別内訳

(単位：円)

議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	支出合計	政務活動費分執行額	執行率
宮田勝美	*30,000		9,000			9,000	9,000	30.0%
小林立栄	60,000		64,963	19,985	2,376	87,324	60,000	100%
菊池美也	60,000		56,700	5,195	2,484	64,379	60,000	100%
萩野幸弘	60,000	49,773	80,825	3,854	4,320	138,772	60,000	100%
瀧本孝一	60,000		51,600		51,490	103,090	60,000	100%
多田勉	60,000	49,784		6,072	4,320	60,176	60,000	100%
菊池由紀夫	60,000	49,773		13,659	23,607	87,039	60,000	100%
佐々木大三郎	60,000		68,200	1,344		69,544	60,000	100%
菊池巳喜男	60,000		54,420		50,704	105,124	60,000	100%
照井文雄	60,000		54,330	9,430	4,700	68,460	60,000	100%
荒川栄悦	60,000		52,900		13,068	65,968	60,000	100%
菊池充	60,000				15,286	15,286	15,286	25.5%
瀧澤征幸	60,000	49,773	9,000	2,850		61,623	60,000	100%
細川幸男	60,000					0	0	0%
浅沼幸雄	60,000		46,600		48,664	95,264	60,000	100%
多田誠一	60,000	49,773				49,773	49,773	83.0%
安部重幸	60,000	49,773				49,773	49,773	83.0%
新田勝見	60,000	49,773	9,000			58,773	58,773	98.0%
合計	1,050,000	348,422	557,538	62,389	221,019	1,189,368	902,605	86.0%

*宮田勝美議員は、10月分からの支給です。 ※広報費、公聴費の支出はありませんでした。

※1人当たり交付額60,000円を超える支出については自己負担です。

「政務活動費」は、議員の調査研究、研修や市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動に充てられますが、交付額を超過して支出した場合は自己負担となります。なお、残額147,395円については、遠野市の歳入に返還されました。

市民に開かれた議会の 実現のために

議会改革推進特別委員会からの報告

平成28年6月定例会において設置された特別委員会は、22回の委員会と議員研修など33回の会議等を行いました。

委員会は、平成24年に制定した議会基本条例を検証し、下表の取り組み事項を設けて協議しました。

主な改革として、平成29年12月定例会からは、火曜日の開会に会期日程を見直し、議案の調査研究のために常任委員会、論点整理の議員全員協議会を設けました。

市民との懇談会は、市民の発言の機会を増

やし、共に地域づくりに取り組み機運を高めるよう、グループワークを行っております。

また、ICTを活用した議員活動や会議の運営を検討しました。今後は市と議会が検討する組織を設けることとしていきます。

議会改革は、その時々の課題をとらえ、継続して取り組む必要があります。

議会基本条例に基づいた市民に開かれた議会を実現するため、さらなる取り組みを提案し、報告とします。

議会改革推進特別委員会

- 委員長 荒川 栄悦
- 副委員長 浅沼 幸雄
- 委員 小林 立栄
- 菊池 美也
- 萩野 幸弘
- 菊池 由紀夫
- 佐々木 大三郎
- 細川 幸男

取り組み事項	内容	結果
ICT※を活用した議会の充実	タブレット端末を導入した議会運営を目指すほか、議会をインターネット中継する。	市と議会で検討する組織を設ける。
定例会の会期の見直し	議案の調査研究をする機会を確保する。	平成29年12月定例会から実施。
市民との懇談の場の見直し	対面する一問一答の方式を改め、より多くの市民の意見を聞く機会とする。	平成29、30年にワークショップ方式を導入。
議会基本条例の見直し	政治倫理の規定を設け、改革の推進・検証、ICTの活用を明記する。	現状の運用で足りる。傍聴規則は見直した。
常任委員会の活動強化	調査研究の強化、公聴会制度の活用で条例や政策の提案に結び付ける。	平成29年12月定例会から常任委員会調査を実施。
議会図書室の充実	議員の調査研究に寄与し、活動を向上。	順次充実を図る。
議員定数、報酬の検討	議会や議員活動の魅力化のため、適正な数を判断し提案する。	市民の声も聴き、引き続き検討する。

※ICT：情報通信技術の意味。スマートフォンやタブレットを活用することで、正確な内容を迅速に把握し、会議等における議論の深化を図ろうとするもの。

議会改革推進特別委員会報告書は遠野市議会のホームページに掲載されています。

ご一読ください。

遠野市 議会改革推進特別委員会報告書

検索

平成30年度

「市民と議会との懇談会」を開催

市民との懇談会は、4月23日から27日に、市内11地区ごとに開催されました。参加していただいた市民は延べ115名でした。



少子高齢化は、地域にとってマイナスな面が多いものですが、「少人数の子どもにキメ細かな教育ができる」「お年寄りの豊富な経験が活かせる」といったプラスにとらえる発言もありました。

しかし、全体として少子化による地域の活力の減退、後継者不足が心配され、高齢化による健康不安、交通の便の不足などが課題として挙げられました。

た。

昨年からワークショップ方式を取り入れた意図は、様々な地域課題を共に考え、対話の中から自分の出来ることに気付き、地域づくりに取り組む意欲を共有することでした。なお、より多くの市民の意見や要望を聞き取ることも大切で、次回開催からは進め方を再検討します。

議会内での意見集約では、各種団体単位で



の懇談会の開催を検討していくこととしました。



意見、要望として聞き取った事項は、各常任委員会で内容を検討し、政策提言につなげてまいります。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介いたします。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

遠野テレビで市議会を見るのが楽しくて、また、議会だよりを読むことで議会のことが詳しく知ることが出来ます。(青笹町、73歳、女性)

広報、議会だより楽しみに読んでいます。遠野テレビの毎日の出来事、議会の様子がかかさず見えています。(上郷町、86歳、男性)

表紙の子どもがとても可愛くて暖かい気持ちになります。(小友町、58歳、女性)

いつも拝見させて頂いております。「わたしのひとこと」に沢山の人の思いが伝わってきます。新年度がスタートし、心新たに夢と希望を持ち頑張りたいと思います。雇用の確保、人材の育成等の課題…期待しております。(早瀬町、49歳、女性)

教育民生 常任委員会 行政視察



2校をつなぐ遠隔合同授業の様子

〔調査日〕
平成30年
5月23日～25日

〔参加議員〕
萩野 幸弘
菊池 美也
宮田 勝美
小林 立栄
菊池 巳喜男
瀧澤 征幸

■ICTを活用した遠隔合同授業を視察
愛媛県西条市では「学校は地域の核であり、極力統廃合はしない方針である。小規模校のデメリットを払拭すべくICTの活用を模索していたところ、文部科学省の実証事業に採択され、平成27年度から「ICTを活用した遠隔合同授業」を取り組み始めた。

■「障がい者千人雇用推進事業」を視察
岡山県総社市では、障がい者を抱える家庭からの意見や、リーマンショックによる大量失職、隣接する市に誘致された県立支援学校の卒業生等の就労の場を担うため、現片山市長の肝いりで事業が始まった。

「中央のことを政府と呼ぶが、地方のことを政府とは呼ばない。それは地方には何の権力もないからである。国が地方自治体の採点をして、良ければ補助金を出すという方式で成功した試しはない。」

「1000人」を達成し、現在は「1500人」雇用に目標を上方修正している。障がい者の就労支援は企業にとっても雇用義務が課せられている。本市においてもぜひ

実際の遠隔合同授業を視察したが、2つの学校を光回線等でつなぎ、それぞれの教室に電子黒板と大きな画面のスクリーンを正面と横の2面に配置。お互いの先生と児童が映されると、あたかも同じ教室に大勢いるかのような状況で授業を受けることができる。

小規模校児童の学習意欲や学力・表現力の向上、さらに中一ギャップの解消に成果を上げている。本市のように広い地域に点在する小学校にこそ、このような遠隔合同授業システムが有効ではないかと感じた。

ハローワークと協定を結び、「障がい者千人雇用推進条例」を制定。障がい者と企業をマッチングさせる組織を立ち上げ、両者の間に立った総合的な支援を展開している。

平成29年5月に目標



ひとつのフロアに、関連する福祉関係機関・部署が配置されている

学んで行動する議会へ

市政調査会

〔調査日〕
平成30年5月17日

〔参加議員〕
15名

■遠野東工業団地整備事業を現地調査
この事業の本年度予算は8億3900万円。



解体工事が進んだ曲がり家を視察

既存の工業団地の東側開発区域13・8ha、西側開発区域16・6haの整備事業である。それに伴う道路や実施設計、各種法令の許可申請、造成工事の内容などの説明を受けた。

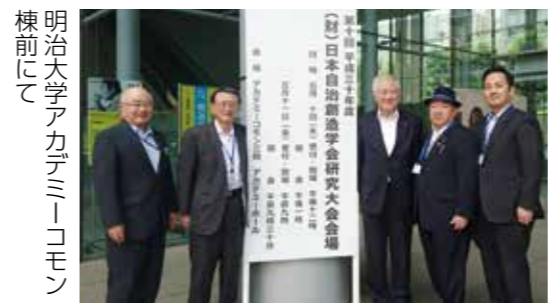
■重要文化財「干葉家」住宅整備事業第1期保存修理工事の進捗状況を現地調査
本年度予算は8485万円。母屋2階の造作解体と、座敷天井の解体、土蔵、石蔵等の解体工事である。

近隣地域では、あまり例のない丈夫な屋根の骨組みを見ることで、その当分の大変なお金と労力が掛かった様子がわかった。

夏休み期間には、一般公開されるとのことである。

〔研修日〕
平成30年
5月10・11日

〔参加議員〕
萩野 幸弘
佐々木 大三郎
照井 文雄
荒川 栄悦
瀧澤 征幸



明治大学アカデミーコモン棟前にて

議員有志 第10回 日本自治創造学会 研究大会に参加

■人口減と対峙する地方議会について北川正恭氏が講演
今回のテーマは人生100年時代の地域デザインと人口減少社会に向き合う地域社会であった。

地方自治体の首長はそれを変えられない。公職選挙法で選出された議員にしか変えることができない。なぜなら、地方議員は、主権者の代弁者であるからだ。国の改革は地方から始めなければならない。そのためにも、議会全体が活性化していなければならない。」とのことである。

今回の研究大会の大きなテーマは、やはり人口減少であり、日本にとって最も大きな課題となっている。地方や地域から国を変えていく心意気・覚悟が求められていると痛感。素晴らしい研修会であった。



人口減少社会の地域デザインについてのパネルディスカッション

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長菊池充議員、副委員長多田勲議員）は、条例7件、予算2件、その他1件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わられました。その結果、全10議案が原案のとおり可決・承認されました。

遠野駅舎に係る基本計画調査の実施についてを議員間討議

議案内容の十分な理解を図ることを目的に、「常任委員会調査」を行い、三つの常任委員会（総務・教育民生・産業建設）ごとに、当局から聞き取りを行っています。

委員会調査において明らかになった議案の疑問点等を議会全体で理解するため、議員全員協議会を行います。

今定例会の議員全員協議会では、修正予算案に計上された「遠野駅周辺整備基本計画調査負担金896万円」について、論点整理を

行いました。

合性を図る必要あり。情報の周知が不十分で、拙速な結論ではないか。

【整備方針に関する当局の説明内容】

- J・Rと市との合築。
- 現駅舎と同規模で新築。

- 市の負担の具体的な提示が必要では。
- 駅舎は「まちの顔」もつと市民とともに議論を。

外観は、まちのシンボルを目指す。

遠野駅舎の未来を考える会のワークショップでのアイデアを基本とし、J・R盛岡支社と基本調査に係る協定を締結する。

【議員間討議の内容】

- 駅周辺の施設との整

交わされた質疑、意見を基に、予算等審査特別委員会において、より具体的な質疑が展開されました。（以下の記事参照↓）

遠野駅周辺の整備をどうするか

今年度予算に計上した調査負担金は、J・Rとの合築により、現在と同規模で新築した場合の経費等を調査するということか。

ただ、駅舎の未来を考慮する会や議会にもお示ししていきたい。

調査結果によって、駅舎の未来を考えると、整備方針が白紙になることもあるのか。

J・Rにはこれまで、整備方針等本市との十分な話し合いのもと決定いただくよう、趣意書や申入書が提出されているが、当局として、まちづくりの考えを明確にすべきでは。

今回の調査結果を踏まえ、駅舎の未来を考える会や議会と協議いただき、判断することになるが、多額の費用を要する施設となれば白紙もある。

この調査がスタートになる。どのような駅にし、どのような中心市街地のまちづくりをしていくのか、市民、議会と議論しながら進めていきたい。

調査は、J・R盛岡支社を通じてJ・R東北工事事務所が進める。調査経過に係る情報は、可能な限り共有し



調査の主導はJ・Rか。



盛岡南イオン内の結いの市

を支払うことは、生産者のためになるのか。

組合員への説明はまだ不十分であるが、高速度開通で各産直の売上減少が考えられることから、集配システムを強化することで生産品目の拡大と売り上げ向上につなげたい。

販売手数料30%で、結いの市に係る経費の全てをふると公社が担っている。

結いの市開業時に

出店した事業者数とそ

後の状況は。

平成18年度のの出店当時は、ふるさと公社含めて6店舗で、平成18年度に1店舗、平成20年度3店舗が離脱し、現在は2店舗である。採算面で撤退という事情もあったと思うが、遠野市は一貫してアンテナショップと位置づけてきた。

ふるさと公社は地域商社的作用を担っており、他の販売先の可能性についても検討している。

オール遠野で観光まちづくりの推進を

負担金の目的は。

道路ネットワークの変化、宮古・室蘭間のフェリー就航と重要な時期であり、道の駅

のフェリー就航と重要な時期であり、道の駅

遠野風の丘創業20周年を核として市内への誘客を図り、観光産業の振興を目的に取り組む。

創業20周年は、市内の郷土芸能団体をはじめ多くの市民が参加できる内容にするべきでは。

市民の参加は重要だと認識している。10月以降の計画には、郷土芸能を披露する機会を設けたい。

道路混雑と安全への対策を。

職員を配置し、無事故への注意を喚起する。

中心市街地に臨時駐車場を確保する考えは。

風の丘の既存の駐車場の他、西側の職員駐車場、東側の草地、旧綾織小学校の校庭を臨時駐車場として使用する。中心市街地への誘導については、今後の混雑の状況をみて対

市全体の観光推進に取り組みべきでは。

遠野市観光推進協議会として情報共有、構成団体ごとの主要な事業・計画に沿って協力し合い取り組んでいる。関係団体でチームを組み、年間の 프로모ーション活動の動きを把握しながら、役割を持つて進めている。マーケット調査に基づき、アクションプラン



大盛況の風の丘感謝祭

を策定していく。

ホストタウン会場整備事業でクラブハウスを新築

新築の必要性はあるか。

ブラインドサッカーブラジル選手団の事前合宿誘致を進めるにあたり、要件を満たす施設が必要。サッカー場内の既存クラブハウ

施設が必要。サッカー場内の既存クラブハウ

盛岡商圏「結いの市」とふるさと公社の現状は

産直ネットワーク集配システム構築業務委託の内容は。

配送システム構築のためのコンサルティングをお願いする。現在、風の丘に集まった遠野産品を1日1回、結いの市に配送しているが、今年度から2カ年度を実証実験と位置づけ、市内の他の産直と協議し、1日2回配送できないか考えている。また、産直の魅力アップのためのさまざまな技法についてスキルを学ぶための委託料である。

結いの市の販売手数料は売上げの30%だが、他の産直の手数料等はどうか。

産直手数料は概ね10%と捉えている。

得られる将来的な効果は。

サッカー大会・宿泊の誘致の大きなPRポイントとなる。サッカー場の有効活用としての一面ではなく、交流人口の増加に向けた考えをもって効果を広げていきたい。

共生社会の実現にどう取り組むのか。

障がい者・老人福祉は健康福祉部、中心市街地・駅舎等のユニバーサルデザイン対応は環境整備部、心のバリアフリーであれば教育委員会、あるいは子育て応援部の取り組みとなる。

全庁的な推進をもつて、思いやりと心づかいの見えるまちづくりを目指す。

全庁的な推進をもつて、思いやりと心づかいの見えるまちづくりを目指す。



佐々木大三郎 議員
(市民クラブ)

一問一答方式

遠野ふるさと公社 累積赤字過去最大

問……………

経営改革3カ年計画を掲げて取り組んだ中で、平成29年度823万円の赤字。累積赤字過去最大4010万円の原因は。

問……………

「結いの市」は、開業以来12年間赤字、売り上げも頭打ち状態で累積赤字8600万円に達する。農家生産者も交えて採算性と貢献性について検証と協議が必要では。

答(市長)……………

生産者60人の中には若手も多く、年間売り上げ5000万円超に

達しており販路拡大と農業振興の観点から重要。また、遠野への観光客は、その6〜7割が40万人を擁する盛岡商圏なので、アンテナショップと情報発信基地としての有効性を見極めたい。

馬事振興の現状を確認

問……………

「馬事振興ビジョン」は平成29年度で最終年度となっているが、その総括は。

問……………

馬事振興の課題である。

答(市長)……………

馬事振興ビジョンの現状と、今後のあるべき方向性をしっかりと見極めて進めたい。

問……………

馬つこまつりの復活はないか。

答(市長)……………

畜産振興公社は観光推進協議会の構成メンバーであり、馬つこまつりをイベントにするか、観光資源にするか検討したい。



高校生と馬とのふれあい



宮田 勝美 議員
(無党派)

一問一答方式

都市計画事業について問う

問……………

稲荷下第二地区土地区画整理事業の効果は。

問……………

今後の土地区画整理事業等の計画は。

答(市長)……………

今後の区画整理事業の予定は無い。現在の状況では未整備箇所の整備を進めるのは難しい状況であり、住民説明会を開きながら道

問……………

都市計画区域内の市道の現状認識は。

答(市長)……………

1級市道の改良率は約95%、2級市道の改良率は約83%であり、市道も含めた道路改良事業は「生活に身近な道づくり事業第5期計画」により実施している。

問……………

空き家対策の状況は。

答(市長)……………

平成27年10月に副市長を本部長とする空家



稲荷下第二地区土地区画整理事業
(公園、道路、小学校まで続く歩行者専用道路)

等対策本部を立ち上げ、市内部の関係課による庁内連携体制を整えた。

平成28年には空き家の実態調査と意識意向調査を実施した。

平成29年には、学識経験者等で構成する協議会を設立し、空家等対策計画の策定に向け協議を進め今年度中に策定及び公表を予定している。



菊池 美也 議員
(政和クラブ)

一問一答方式

は、互いを思いやる心や相互扶助の意識が強い。様々な活動を通じて育まれた子どもたちの「福祉のこころ」が、地域の思いやりにも繋がっていると感じている。

※共生社会ホストタウンとは・・・
パラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現のための、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーの取り組みを実施するホストタウン。

福祉を切り口としたまちづくり

問.....

わらすっこの「福祉のこころ」を醸成するために、どのような機会を提供し、その効果をどう捉えているか。

設の訪問、花巻清風支援学校遠野分校室の子ども達との日常的な交流などを通じ、「困っている人を助けたい」「誰かの役に立ちたい」といった意識が生まれている。

答(教育長).....

道徳の授業で、思いやりや親切な行動の意義、相手の立場になって考えることの大切さを学んでいる。また、障がい者や高齢者の施

平成29年4月に実施した調査では「地域でのボランティア活動への参加」「人が困っているときは進んで助けている」の項目で、全国平均を上回る結果であった。遠野の子ども

問.....

※共生社会ホストタウンの登録を、今後のまちづくりにどう活かすのか。

答(市長).....

「違いを知る」「違いを尊重する」「違いと絆(つな)がる」取り組みを進め、思いやりと心づかいの見えるまちづくりを目指す動機づけにする。共生社会を実現しなければならぬ。遠野駅舎や中心市街地について、ユニバーサルデザインの理念を活かした整備をする。



「理解し、支え合い、共に生きる」福祉意識の更なる醸成が必要です。

農福連携の可能性

問.....

就労機会を求める福祉サイドと、労働力を求める農業サイドが同じ地域にいる。双方のニーズのマッチングが、農業の維持・地域活性化につながるのではないかと

答(市長).....

市社会福祉協議会と連携し、障がい者の自立支援と就労支援に取り組んでいる。新たに今年度は、農福連携の調査研究に着手した。農業経営者と福祉的支援を必要とする人との互いの理解を促し、不安を取り除くことが農福連携の推進には重要である。コーディネートとしての活躍を社協に期待し、市も可能な限り支援をする。



細川 幸男 議員
(無会派)

一括方式

学校教育における人工知能の対策は

問.....

人工知能が進化・発展している社会で、子ども達の生きる力を伸ばしていくための対策等を伺う。

答(教育長).....

人工知能については、年々進化のスピードが加速し、最近では、人工知能による自動運転機能を搭載した自動車の開発や、医療、健

康面で様々な実証実験が行われている。人工知能が私たちの生活にとって身近なものになり、便利な未来が予想される一方で、「今後20年程度で、今ある半数近くの仕事が自動化され、人間の職業を奪うのではないか」という予測が論じられた。

現在、当市では、小中が連携して「主体的、対話的で深い学び」を目指した授業の改善に取り組んでいる。これ

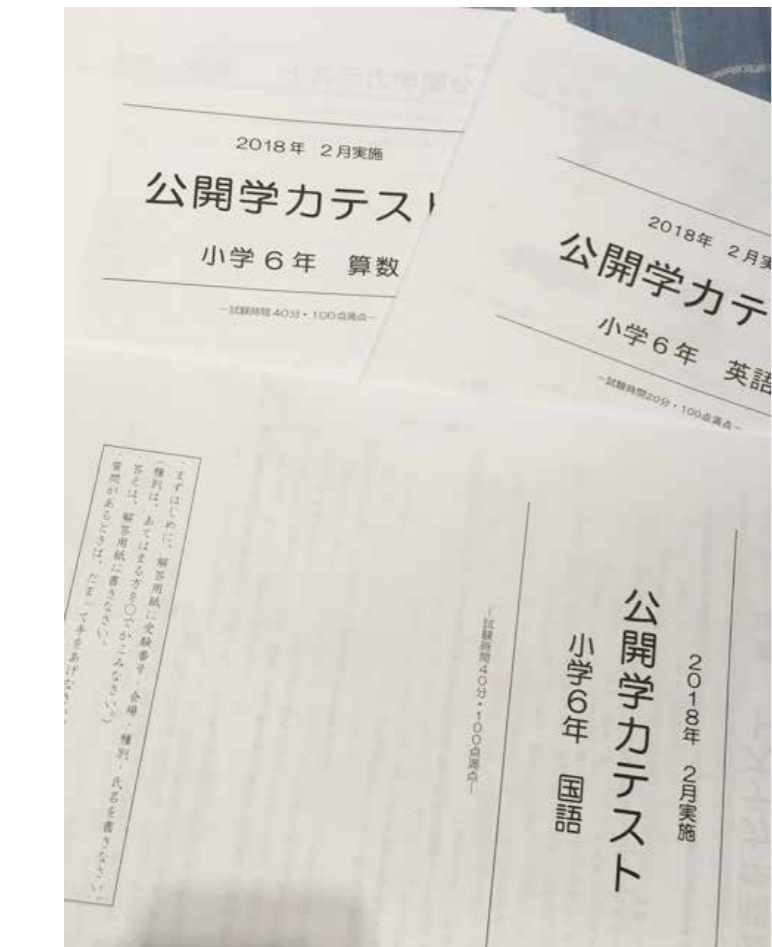
は、新学習指導要領が示す方向性に沿ったものであり、自信を持って進めていきたいと考えている。

問.....

遠野市でも実施している全国学力学習状況調査の目的とその成果は。

答(教育長).....

調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生



徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証して、改善を図ることにある。昨年の児童生徒の調査結果を分析したところ、基礎的・基本的な習得については概ね良好な状況にある。当市では、「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、「遠野市授業づくりスタンダード」を作成している。子ども達には、私たちが今までに経験したことが無い未来の時代を、身につけた資質・能力を活かし、自分で考え判断して行動できる能力と、自ら他者と協力し、助け合う能力を身につけさせ、次世代を生き抜く力を育てていきたいと考えている。



浅沼 幸雄 議員 (政和クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 企業誘致と働き手の確保について
- 空家の利活用について

本市における児童虐待の現状は

問.....

全国的に児童虐待は深刻な社会問題となっており、県内でも子どもへの尊い命が失われるといった痛ましい事件も起きていますが、本市における児童虐待の現状は。

答(市長).....

子どもへの虐待は、身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト(育児

放棄)、性的虐待の大きく4つに分類される。県内3児童相談所の虐待相談受件数は増加し、29年度は過去最高の1087件となっている中で、本市の児童虐待に係る相談人数は24人となっている。児童虐待の問題は、家庭環境、生活の困窮、夫婦関係の問題など多種多様な複雑化しているのが現状である。市では、元気わらすつこセンターのこども

政策課内に家庭相談員、女性相談員による相談窓口を設置し、実態の把握、早期発見、早期対応を行うなど相談しやすい環境を整え、親身になって何度も相談者宅に足を運び、家庭に寄り添って虐待の解消に向けて奮闘している。

児童虐待が疑われる場合の対応は

問.....

児童虐待が疑われる事態が発生した場合、市ではどのような対応をするのか。

答(市長).....

虐待情報があった場合は、48時間以内に子どもの安否確認のため自宅等につけ、子どもの安全確認と保護

者及び関係者からの聞き取り等、状況を把握している。さらに、こども政策課内で緊急度判定会議を行い、事態の危険度や緊急性を判断し、個別ケース対応会議を開催している他、状況に応じて、岩手県福祉総合相談センター等の関係機関・団体によるケース検討会議を開き、情報共有をして早期支

援等に取り組んでいる。また、児童福祉法に基づき、遠野市要保護児童対策地域協議会を設置し、子育てに関わる関係機関による情報交換を行いながら必要な支援につなげている。さらには、元気わらすつこセンターのこども政策課内に直通電話回線を設け、早急に対応できる受付体制を整えた。

▼児童虐待防止や直通電話回線をお知らせすることも政策課のチラシ虐待を受けたと思われる子どもがいたら、62-0189へ

見守る・ささえる・地域の子育て 防ごう！児童虐待

児童虐待とは・・・？

身体的虐待	性的虐待
ネグレクト	心理的虐待

子どもや保護者の こんなサインを気にかけていませんか？

「もしかして虐待？」と思ったら、速く相談・通報を！

市民みんなの力で虐待の無い遠野市を



瀧本 孝一 議員 (市民クラブ)

一問一答方式

遠野駅舎の建替え 基本計画調査の内容は

問.....

6月2日に地元新聞に掲載された遠野駅舎の解体新築案記事に係る、これまでの経緯や基本計画調査の中身、内容はどのようなものなのか。

答(市長).....

昭和25年建築の遠野駅舎は、築68年が経過し老朽化と耐震性の問題から、平成26年にJ

R東日本から駅舎の解体と規模縮小の建替え方針が提示され、翌年には「フォルクローロ遠野」の営業も停止した。これに対し、本市は平成27年2月関係団体の代表による「遠野駅舎の未来を考える会」を立ち上げ、5回のワークショップの開催など、JR側と協議を続けてきた。

調査内容は、現駅舎と同規模で駅舎に併設する集客施設に係る、

問.....

- ①現況調査、②計画条件の整理・案の作成、③鉄道支障調査、④概算工事費・概略工程算出、⑤事業施行上の課題整理等の項目である。

答(市長).....

ワークショップでまとめた3つのコンセプトは、「まちの歴史と魅力が詰まった100年先に誇れる駅舎」、「日常的な賑わいのあがる人が集まる場所」、「交通・情報・人・時間の接点として安心な機能」である。

釜石道全通後の風の丘への影響や誘客対策は

問.....

交通量予測調査や、道の駅・遠野風の丘への影響をどのように見ているか。

答(市長).....

国交省の交通量調査によれば、横断道の供用区間の延伸による交

通量は増加傾向で、全線開通により更に増えると思われる。

市の28年5月の風の丘の交通量調査では、施設に面した国道283号の交通量が約40%減少し、全線開通による影響が懸念される。

問.....

風の丘への誘客対策や、遠野名物「ジンギスカン」が味わえる屋外スペース設置の可能性は。

答(市長)..... 横断道全線開通後も風の丘は極めて重要な存在であり、目的化されるよう機能充実を図っていく。ジンギスカンは民間と連携した取組の中で、20周年感謝祭を通じて観光推進協議会の中で検討していきたい。



数年前に解体・新築が見込まれる現在の遠野駅舎としし踊りの様子



小林 立栄 議員 (無会派)

一問一答方式

産業と交流の元気なまちづくりの推進を

就職や移住についての積極的な情報発信、市内でのインターンシップや就職試験への交通費や宿泊費の助成支援など、大学と連携した就労・移住定住支援に取り組むべきでは。

奨学金返還支援制度を導入しては。

若者を呼び込む新しい方策として検討する。

中学・高校生に対する取り組みの充実を。

事前学習会や振り返りの機会を設ける等、

先行事例を参考に大学との連携を密にしていく。

奨学金返還支援制度を導入しては。

若者を呼び込む新しい方策として検討する。

中学・高校生に対する取り組みの充実を。

事前学習会や振り返りの機会を設ける等、

学校現場、関係機関と連携し充実を図る。

「ふるさと応援名物宣言」制度を活用して「ジーンズスカン」「ポップ・ビール」「どぶろく」のブランド化を図り、地域経済の好循環に取り組んで。

関係者と知恵を出しながら、仕組みづくりに取り組む。

国際・全国大会参加者へのスポンサー募集など応援制度を。

空き店舗対策にもなる。積極的に活路を見出したい。

更なる充実を図りたい。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

スの整備など中心市街地への企業誘致の必要性は。

空き店舗対策にもなる。積極的に活路を見出したい。

更なる充実を図りたい。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

ICTの技術を活用した積極的な取り組みも必要では。

岩手中部地域の医療機関、薬局や介護施設、行政間でインターネットを活用し患者の情報共有するネットワーク協議会に、積極的に参加する。

安心の長寿社会に向けて

終末期医療、自宅でのみとりを支える体制の充実。

成年後見制度の周知啓発、利用支援、市民後見人の養成が必要では。

釜石市、大槌町と共同で、専門相談や市民後見人の養成等を行う成年後見センターを設立し、支所を設置する予定である。

地域での支え合い、助け合い、見守り、終活支援の充実を。

地域包括ケアシステムを進めるなかで、先進事例も参考に関係部課と連携を図り充実させる。

地域での支え合い、助け合い、見守り、終活支援の充実を。

地域包括ケアシステムを進めるなかで、先進事例も参考に関係部課と連携を図り充実させる。

地域での支え合い、助け合い、見守り、終活支援の充実を。

地域包括ケアシステムを進めるなかで、先進事例も参考に関係部課と連携を図り充実させる。

地域での支え合い、助け合い、見守り、終活支援の充実を。

地域包括ケアシステムを進めるなかで、先進事例も参考に関係部課と連携を図り充実させる。

地域での支え合い、助け合い、見守り、終活支援の充実を。

地域包括ケアシステムを進めるなかで、先進事例も参考に関係部課と連携を図り充実させる。

改正された介護保険料、遠野市は高いのか

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

岩手県下33市町村の介護保険料の平均、遠野市の実態と今後の保険料額の見込みはどうか。

※ LGBT の注釈について不正確で誤解を招く表現がありました。訂正のうえ、お詫び申し上げます。 LGBT ～レズビアン (女性同性愛者)、ゲイ (男性同性愛者)、バイセクシュアル (両性愛者)、トランスジェンダー (心と体の性が一致しない人) の英語の頭文字をとった言葉。これらに含まれない性的少数者全体を示す総称として使われることもある。 ※ 投票環境の整備についての各弁は、市長ではなく選挙管理委員会委員長でした。訂正のうえ、お詫び申し上げます。



菊池 巳喜男 議員 (市民クラブ)

一問一答方式

災害対応の強化と支援は大丈夫か

この前、地元紙に市内小友町山谷地区の災害に対する不安が住民によって語られていた。高齢者だけで避難せざるを得ない「老老介護」、若者などの地域の支援者が働きに出て不在になる「隠れ孤立」など大きな課題として浮かび上がっている現状。市では、「遠野市防災基本条例」が制定されているが、災害発生時の具体的救助等について示されているのか。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。

災害発生時、住民救助や支援に関する指針として国の定めてある災害対策基本法の規定により進めて行くことが、遠野市防災基本条例に規定されている。



日ごろから訓練に励み、消防操法競技会で成果を上げる消防団員

常に災害発生に備え、予算を計上しつつ、直に該当しない自然災害等の救助支援対応は、従来から適用基準に関わらず救助及び支援活動を実施している。

市では、災害救助法に該当しない自然災害等の救助支援対応は、従来から適用基準に関わらず救助及び支援活動を実施している。

市では、災害救助法に該当しない自然災害等の救助支援対応は、従来から適用基準に関わらず救助及び支援活動を実施している。

市では、災害救助法に該当しない自然災害等の救助支援対応は、従来から適用基準に関わらず救助及び支援活動を実施している。

市では、災害救助法に該当しない自然災害等の救助支援対応は、従来から適用基準に関わらず救助及び支援活動を実施している。

市では、災害救助法に該当しない自然災害等の救助支援対応は、従来から適用基準に関わらず救助及び支援活動を実施している。

わたしのひとこと



な ひら ひろし
名 平 裕 さん
(青笹町)

「初めてだけど懐かしいまち」遠野に移り住んで約3か月。小田島ギター見習いの名平と申します。この春、道立高等学校を定年退職し、この道に入りました。これは、自分の人生で最後のチャレンジです。師匠の小田島さんとの出会いは古く、所も北海道。無類のギター好きであ

った私は、和寒町の廃校にギター工房を構えた青年について書かれた新聞記事を見逃しませんでした。以来、10年以上の交流を通じ氏の人柄や木材と対話しているかのような楽器作製に感銘を受け、弟子入りを志願しました。自らのルーツを思い起こさせる佇まいの遠野に住むことも楽しみでした。

チャレンジは人を元気で前向きにしてくれます。私も生涯続くこのチャレンジにワクワクしています。願わくは、多くのシニア世代がチャレンジを忘れず、元気で明るい遠野のまちづくりに貢献できますことを。

このコーナーは、市民の皆様のまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

平成30年度がスタートして最初の議会でありました。日本各地で災害が発生しております。被害に遭われた皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。当市においてもいつどんな災害が発生するかわかりません。本年度も災害もなく、市民個々が健康で、安全で安心して過ごせる年であることを願うばかりです。

編集後記



私たち議員は、いかに遠野市の活性化に寄与するべきか、問題を指摘しつつ市民が納得するように行動したいものです。15年という永きにわたり遠野市の発展にご尽力され、全国市議会議長会より表彰と感謝状を受賞された4名の議員に対し、敬意と祝意を申し上げます。

(照井)

広聴広報常任委員

- 委員長 菊池 巳喜男
- 副委員長 小林 立栄
- 委員 菊池 充・照井 文雄・多田 勉・菊池 美也

とのおの議会だより クイズ

●欄に適切な言葉を入れて下さい

- その① 議員の政務活動費は年額●万円です。
- その② 平成30年度市民と議会との懇談会に参加いただいた市民は延べ●●●名でした。
- その③ 教育民生常任委員会は愛媛県西条市で、●●●を活用した「遠隔合同授業」を視察しました。



この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください



《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0592 遠野市中央通り9番1号
遠野市議会事務局 宛

《メールでも応募できます!!》 gikai@city.tono.iwate.jp

《しめきり》 平成30年8月17日(金) (当日消印有効)

～議会だより53号クイズの答え～

- その① 177
- その② 子育て
- その③ チャタヌーガ

議会への提言をお待ちしております!